



# のべおか



# 市議会だより

## 第51号

平成24年5月1日発行  
(2012年)

発行:延岡市議会  
編集:広報・広聴特別委員会

〒882-8686 延岡市東本小路2-1  
TEL(0982)22-7029



経済環境班



総務財政班



都市建設班



福祉教育班

### 平成23年度シティミーティング／議会活動報告会の様子(23年11月～24年2月)

## 3月定例会の概要

3月定例会は、2月28日に招集され、3月22日まで  
の会期で行われました。

今議会で審議された議案等は、平成24年度延岡市一般会計当初予算をはじめとする各会計当初予算、平成23年度一般・各会計の補正予算、延岡市土砂の採取等及び埋立て等に伴う災害の防止に関する条例の制定や、延岡市特別職職員給与条例の一部改正、延岡市ホームヘルパー派遣手数料徴収条例の一部改正など議案30件と報告1件、陳情8件でした。

また、今議会中の一般質問は、初日と2日目に各会派の代表質問が行われ、6名が主質問を、その関連質問を4名が行い、3日目には6名が個人質問を行いました。この3日間で市長の政治姿勢をはじめ、新庁舎建設や防災行政、農林水産振興、福祉教育問題など、多岐にわたる質疑が活発になされました。

最終日の本会議において、議案をいずれも原案通り可決し、陳情3件を採択、同じく3件を継続審査として閉会しました。

### 主な掲載内容

(ページ)

- ◆ 3月議会で決まったこと……………2
- ◆ 一般質問……………3～6
- ◆ 各常任・特別委員会調査報告……………7
- ◆ 鮎やなに関する審査、政策提言など……………8



平成23年度 3月補正予算一覧表

会 計 別	補 正 前	補 正 額	合 計
一 般 会 計	574億7773万7千円	6億2410万4千円	581億0184万1千円
特別会計			
国民健康保険	165億3955万1千円	△2億7895万1千円	162億6060万0千円
食肉センター	13万0千円	—	13万0千円
介護保険	117億2573万1千円	2049万4千円	117億4622万5千円
後期高齢者医療	13億2439万0千円	△657万3千円	13億1781万7千円
小 計	295億8980万2千円	△2億6503万0千円	293億2477万2千円
企業会計			
水道事業会計	40億8099万7千円	△1億3496万1千円	39億4603万6千円
下水道事業会計	59億4061万7千円	△993万4千円	59億3068万3千円
小 計	100億2161万4千円	△1億4489万5千円	98億7671万9千円
合 計	970億8915万3千円	2億1417万9千円	973億0333万2千円

予算関係

3月議会で決まったこと

平成24年度 当初予算一覧表

会 計 別	24 年 度	23 年 度	増 減 率 (%)
一 般 会 計	537億1300万0千円	562億2200万0千円	△4.5
特別会計			
国民健康保険	164億0531万6千円	163億7627万2千円	0.2
食肉センター	10万0千円	13万0千円	△23.1
介護保険	123億8983万6千円	113億2034万3千円	9.4
後期高齢者医療	14億6210万5千円	13億2921万6千円	10.0
小 計	302億5735万7千円	290億2596万1千円	4.2
企業会計			
水道事業会計	44億7474万3千円	40億8328万9千円	9.6
下水道事業会計	59億6545万3千円	59億8228万3千円	△0.3
小 計	104億4019万6千円	100億6557万2千円	3.7
合 計	944億1055万3千円	953億1353万3千円	△0.9

条例関係

- ◆ 延岡市用品調達基金条例を廃止する条例の制定
- ◆ 延岡市特別職職員給与条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市税条例及び延岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市火災予防条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市営住宅条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市住宅新築資金等貸付基金条例を廃止する条例の制定
- ◆ 延岡市土砂の採取等及び埋立て等に伴う災害の防止に関する条例の制定
- ◆ 外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- ◆ 延岡市介護保険条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市重度心身障害者医療費助成に関する条例の

- ◆ 一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市ホームヘルパー派遣手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ カルチャープラザのべおか条例の一部を改正する条例の制定

人事関係

- ◆ 人権擁護委員候補者の推薦（矢野廣文氏）

その他の議案

- ◆ 辺地に係る総合整備計画の変更（北浦町大井辺地）
- ◆ 和解及び損害賠償の額の決定

報告

- ◆ 専決処分報告（物損事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）

【陳情・請願の審査結果】

件 名	依託委員会名	結果・経過
延岡が誇る伝統鮎やなの存続に関する陳情	経 済 環 境	採 択
重要な観光資源である伝統鮎やなの存続に関する陳情	経 済 環 境	
伝統鮎やなの存続に関する陳情	経 済 環 境	
引火性溶剤を用いるクリーニング所の建築基準法許可申請に対する支援に関する陳情	都 市 建 設	取 下 げ
市営住宅におけるペット飼育可能な区画の設置を求める陳情	都 市 建 設	
公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情	経 済 環 境	継 続 審 査
住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書の提出に関する陳情	総 務 財 政	
国民の権利を支える行政サービスの確保を求める意見書提出に関する陳情	総 務 財 政	

# 16名の議員が登壇

# 一般質問

3月議会の一般質問については、今年度より代表・個人の各質問が行われ、活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。

## 登壇議員

### 【質問順】

《代表質問》

◎は主質問者

- ◆無所属クラブ
- ◎小田 忠 良
- ◆社民党市議団
- ◎太田 龍志
- ◎佐藤 大
- ◆延岡きずな自民の会
- ◎稲田 雅之利
- ◎上田 美利
- ◆のべおか市民派クラブ
- ◎甲斐 正幸
- ◎河野 治満
- ◆友愛クラブ
- ◎葛城 隆信
- ◎下田 英樹
- ◆公明党市議団
- ◎小野 正二

### 《個人質問》

- ◎小野 正二
- ◎藤原 裕盛
- ◎石野 良一
- ◎白矢 茂樹
- ◎西上 泰洋
- ◎平 信広

## 総務財政関係

### 新庁舎建設

【問】新庁舎建設のスケジュールを見ると、実施設計完了から入札までの期間が、約2カ月しかなく、積算などのチェックを行うには短い印象を受ける。同等の予算の国や県の公共工事の場合、4カ月は期間を設けると聞いているが、所見は。

【答】新庁舎については、現在、基本設計・実施設計業務を進めており、本年5月1日には基本設計が完了し、8月末から11月末にかけて実施設計が完了する予定である。このようなスケジュールに沿って、実施設計の完了前から設計者と協議を行いながら、設計書等のチェックを行うので、期間的には十分可能であると考えている。

### 新庁舎の定義

【問】新庁舎建設の考え方に關して、使いやすい新庁舎とは。

【答】市民の皆様が利用しやすい庁舎とするためには、ユニバーサルデザインやプライベートの配慮、また待ち時間短縮を目指した窓口システムの構築、市民の皆様への優しい場の確保等が重要であると考えている。

### 災害協定

【問】開局したFMのべおかは、地域の情報を伝える新しい手段であり、災害発生時には市民にとって大きな支えになると考える。FMのべおかと災害時応援協定を結ぶ予定は。

【答】FMのべおかは、災害時の情報伝達媒体としても



▲FMのべおか

大変有効と考える。できるだけ早い時期に、災害時活用に関する協定の締結に向けて、FMのべおかと協議を進めたい。

### 津波避難タワーの建設

【問】二ツ島町のように高い山やビルがなく、災害時には隣町まで避難しなければならぬ地区もあるが、このような地区に避難タワーを建設しては。

【答】津波避難の基本は、近くて高いところを目指し徒

歩で避難することである。避難場所まで遠いなど避難が困難な地区については、車を使い複数人で避難するといった方法も必要と考える。津波避難タワーの建設等については、国や県の地震被害想定の見直し結果などをふまえながら、市全体の津波避難対策を進める中で検討していく。

### 福祉避難所

【問】災害発生時に要援護者を受け入れる避難所については、国が福祉避難所設置・運営に関するガイドラインを示している。本市における指定に向けた取り組みは。

【答】指定に向けて、高齢者施設の施設長会議等で協力をお願いしながら検討を進めている。また、障がい者施設等にも協力をお願いし、できるだけ早い時期に協定締結ができるよう進めたい。

### 行財政改革

【問】職員について、団塊世代の自然退職者が何名で、新規採用者は何名か。また、現在の正規職員数と臨時職員数は。

【答】第5次行財政改革では、退職者278名、新規採用者129名で差し引き149名である。また、現在の職員数は1千278名で、臨時職員数は227名である。

### 第6次行財政改革

【問】安定した行財政基盤の構築が必要であるが、行財政改革の進捗状況と今後の意気込みは。

【答】普通交付税の合併算定替の終了に伴う交付税の減額も想定した財政健全化計画の策定を始め、健全な財政運営の確保に努めており、行財政改革大綱の主要目標の達成を目指すのは当



然ながら、今後の少子高齢化社会の到来など将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立を目指し、全庁あげて取り組む。

### 公契約条例の制定

【問】官製ワーキングプアが生じないよう、公契約条例を制定する自治体が増えていく。行革の進展により公契約に伴う労働者が増加し、その適正な賃金、労働条件の確保には、条例の制定が必要では。

【答】長引く不況や公共事業の減少で、過度な価格競争による低価格の受注が増えており、対策として平成21年度より最低制限価格を引き上げた。人件費の割合が高い清掃業務等の業務委託は、平成24年度より最低制限価格を設定した。条例については、先行自治体の実態等を把握し、国や県の動向を注視する。

### 区長の処遇と役割

【問】区長の役割は地域によって違いはあるものの、仕事が多すぎて区長をする人がいない地区もあると聞きますが、対応は。

【答】区は、地域の任意団体であるので、他市の実情も

調査し、今後の研究課題とし、区長連協や公民館連協と再編の可能性の有無も含めて協議していく。

### 地籍調査

【問】調査の進捗率は市全体で45.78%、旧延岡市地域では20.48%である。旧延岡市地域の進捗率をあげるべきでは。

【答】市内全域が終わるのに50年かかる。新年度より沿岸

## 都市建設関係

### ライフラインの災害対策

【問】災害時のライフラインの状況は、社会生活に大きな影響を与える。本市の水道システムの強化対策は。

【答】上水道の水源施設は、平成18年度より耐震化を進め、5水源のうち2水源の建物は、耐震化及び電気・機械設備を高層部に設置するなど災害への対策を図っている。現在、祝子水源地を同様に建設中であり、残り2水源についても実施する予定である。

### 歴史民俗資料館

【問】高速道路時代に入り、観光の目玉として民意で盛り上がっている歴史民俗資料館の建設は。

【答】現在取り組んでいる大型事業のスケジュールも考え合わせた中で、建設計画の位置づけについての検討を深めていく必要があると考えている。

部から優先的に実施する。



▲祝子水源地

### 土地区画整理事業

【問】岡富・古川、多々良地区土地区画整理事業の実施に伴う建築工事費の総額と、その地域に及ぼす経済波及効果は。

【答】岡富・古川、多々良地区の宅地規模は約1千200戸で、野田地区と同様の率で建築されると想定すると、約600戸となる。これに、県の住宅建築費1戸当たり約1千200万円を掛けると、建築工事費の総額は約78億円になる。また、経済波及効果については、国土交通省の調査結果に基づいて算定すると、約480億円となり、本市の社会経済活動にも波及するものと考えている。

## 経済環境関係

### 伝統的な保存観光事業

【問】昨年度は100万円だった事業費が、今年度は17倍の1千700万円になった。その積算根拠は。

【答】100万円の架設補助だけでは、民間事業者がいなかったため、観光協会が公的な使命感からやむを得ず実証実験として受けていた。しかし、この2年間での制度設計に無理があったので、今回見直しを行い「河川内でのやな架設」1カ所分の費用を市が全額補助することとし、増額となった。

### 下水道事業の経営安定化

【問】昨年12月議会で下水道使用料の25%引き上げが決定し、4月から実施されるが、それでもなお汚水処理経費が賸えない状況にある。今後の下水道事業の経営についての見解は。

【答】収入確保の手段として水洗化促進による接続率の向上や、国の制度活用による管理運営費の削減、事業投資の適正化などの経営改善に取り組んでいく。



【問】平成25年度以降の予算措置は。

【答】「これからの鮎やなを考える会」の提言を受け、広く市民と考える場を継続し、架設場所や架設手法等について協議研究していく。また、補助金やテナント代の低減・圧縮を図り、持続可能な計画を構築したい。

### 河川環境の整備

【問】伝統的な鮎やなの存続も大切だが、鮎が棲みやすい環境を作ることも大切では。

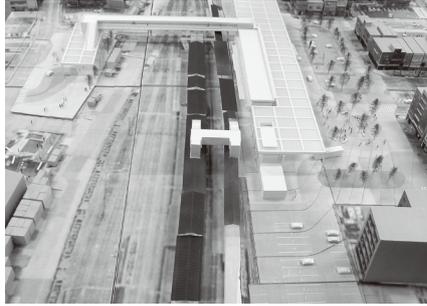
【答】鮎が生息しやすい環境



は清らかで豊かな水量があり、餌となる藻が十分に繁殖する河川と考える。市では、水質の改善のため、公共下水道の整備を行うとともに、水源の涵養(かんよう)を図るため、漁民の森づくりや間伐の推進をしてきた。今後、内水面漁協や河川管理者、関係団体と相談しながら河川環境の改善に努める。

### 延岡駅の整備

【問】延岡駅の橋上化も考えられるが、駅整備の基本的な考えは。



▲新しい延岡駅の模型

【答】橋上化についても検討したが、1番ホームの発着率が高いという特性やコスト面などから、JR九州との協議の結果、必要なバリアフリー機能を加えた地上駅のほうが最大の効果を

られると判断した。

### 倒壊危険家屋の調査

【問】本市では倒壊の恐れがある危険家屋はどれだけか。

【答】危険と判断した空き家は3件、維持管理が行き届いていないものが38件あり、所有者等に適正管理の指導等を行っている。

### 木質バイオマス発電

【問】7月開業予定の間伐材等を利用した旭化成のバイオマス発電に使用する列状間伐材の採算見通しと、使用予定は。

【答】実証実験では、現在の木材価格でも黒字を計上している。同社では年間10万トンの使用が見込まれる。できるだけ多く使用してもらうよう働きかけている。

## 福祉教育関係

### 介護保険料の引き上げ

【問】今回の介護保険条例の改正は、介護保険料を引き上げる内容だが、なぜ、引き上げるのか。

【答】高齢化に伴う要介護認定者の増加をはじめ、施設

### 災害廃棄物の受け入れ

【問】共同通信が実施した全国自治体アンケートでは、北海道・青森・千葉・東京の27市区町村が受け入れを決め、34都道府県の127市区町村が検討中と答えているが、本市の回答は。

【答】※本市の趣旨を適切に表す回答例がなく、最も近い回答例の「検討しているが、現時点では受け入れは難しい」を選択した。

※本市の趣旨：震災がれきの受け入れは焼却、埋め立て施設の受け入れ余力があること、施設周辺の住民をはじめ市民の理解が得られることが前提である。本市の場合は、埋め立て余力を考えると現段階では難しい。



等の整備の進展や介護報酬の引き上げなどに伴い、給付費が大きく伸びたためである。

### 介護保険の助成事業

【問】住宅改修等の介護給付を受ける場合、本市では償

還払い方式のため、利用者の負担が大きい。負担軽減のため、受領委任払い方式を採用できないか。

【答】費用の全額を支払い、後で9割分を支給する償還払い方式で支給してきたが、現在、1割分の支払いのみで済む方法を検討している。

### 介護支援ボランティア

【問】平成24年度予算に計上された介護支援ボランティア制度の内容は。

【答】特別養護老人ホーム等の施設において「歌や踊り」などの慰問活動や入所者の話し相手、配膳の補助などのボランティアに対し、換金可能なポイントを付与する制度である。

### ハートフルプラン21

【問】第5期延岡市高齢者保健福祉計画「介護保険事業計画」の改定案が具体的となり、介護保険料を改定する条例も提出されている。改定計画の特徴や保険料の改定の中身は。

【答】平成24年度から3年間の総合的な高齢者保健福祉施策の基本方向を定める。介護や医療、住まい、生活支援等の各サービスの連携を図り、身近な地域の中で高

齢者の生活を支える「地域包括ケアシステム」の構築が特徴である。今後、施設整備や新たに創設された24時間対応型サービスや複合型のサービスで在宅支援を図る。保険料は、要介護認定者の増加や施設整備、介護報酬の引き上げに伴い、給付費が伸びたので引き上げる。

### がん支援対策

【問】がん先進医療専用窓口を創設して、利子相当額の助成をしては。

【答】県の動向や各県の利用状況に留意し、研究していきたい。

### おもいやり駐車場

【問】市の所有する駐車場の24施設45区画をさらに拡大してはどうか。

【答】市内の各種施設において、現在57施設115区画を登録いただいている。今後の拡充については、障がい者団体や施設等の意見を伺い、施設の拡充に向けて検討していきたい。



▲おもいやり駐車場



## 聴覚障がい者支援

【問】本市の聴覚障がい者の補助事業については。

【答】補聴器の交付や修理・フアックス等の機器の交付、さらには手話奉仕員や要約筆記奉仕派遣事業などの支援を実施している。

## 不育症対策

【問】不育症の検査や治療等における保険適用外の支払いを助成しては。

【答】不明確な部分が多く、専門病院や産婦人科医も少ないことから、今後研究していきたい。

## スポーツ施設整備計画

【問】近い将来、宮崎国体開催の可能性もあるが、早急に施設整備計画を見直し、ビジョンを明確に示すべきと考えるが。

【答】国体開催など環境の変化に応じ、計画の見直しを行う予定であり、国や県の動向を注視し計画に反映させていく。

## 県営スポーツ施設の整備

【問】今後、県営のスポーツ施設の誘致を積極的に行う考えは。

【答】県営スポーツ施設は、

県央地域を中心に集中整備された経緯がある。県に対する施設要望に加え、様々な機会を通じて、配置要望を継続的に行っている。東九州自動車道の整備効果も見据えながら、新たな施設の整備・配置について要望活動を続けていく。

## 学校支援地域本部事業

【問】中学校区で行われる学校支援地域本部事業は、教育力の向上などの成果につながっている。平成24年度は、新たに2校の中学校で取り組むが、小学校からの支援も効果的では。

【答】本事業については、国のモデル事業として平成20年から3年間にわたり、岡富中学校区と、北方中学校区の小中学校で取り組んだもののだが、地域の皆様や学校支援ボランティアの皆様との協力を得て、校内環境の美化や安全見守りなどで成果をあげており、大変感謝している。本来は、小学校を含めた中学校区ごとに取り組むほうが本事業を効果的に行うことができると考えているので、北方中学校区での取り組みをモデルにしながら、条件が整った中学校区で年次ごとに取り組んでい

## フッ素洗口の推進

【問】幼児のころから予防歯科としてのフッ素洗口を、歯科医師会や保健所と一体となって推進すべきでは。

【答】フッ素洗口を保育園等で実施する場合、厚生労働省のガイドラインでは、保護者に対し具体的方法、期待する効果、安全性について十分に説明し、同意を得てから実施することになっている。そこで、保健所が設置している「地域歯科保健推進協議会」の中で、フッ素洗口の効果と安全性について、保育園等に説明する取り組みが進められている。

## フッ素洗口の安全性

【問】フッ素洗口については、安全性、有効性や環境汚染などといった点から、警鐘を鳴らす医師もいる。その安全性は。

【答】文部科学省のガイドラインでは、本人や保護者への十分な説明と同意を得て、学校歯科医の指導のもと、効果と安全性を確保し実施するとされている。本市においては、学校や保護者、学校歯科医の間で、安全性や有効性の合意ができる

までに至っていない。

## 自治公民館の耐震化

【問】市内196施設ある公民館の耐震強度結果と耐震診断補助の考えは。



▲自治公民館

【答】市としては、耐震強度については把握していないが、昭和56年5月31日以前に建設された84施設で耐震診断が必要と思われる。耐震診断については、公民館運営交付金の活用も含め、公民館連絡協議会の意見も伺い検討する。

## 土々呂海浜公園プール

【問】未使用公共物である、土々呂海浜公園プールの処置は。

【答】当該プールの敷地については、ほとんどが国有地であり、国の補助事業によ

り施設の整備を行っていることから、国や県の関係機関との協議を進めている。今後は、適切な管理に努めながら、公共的な活用の方策について方向性を定めていきたい。

### 【用語解説】

【注1】官製ワーキングプア：自治体や自治体から公務の委託を受けた職場で働く非正規労働者のこと。自治体の財政難などが背景にあると言われ、自治体やそこから事業を委託された企業が人件費削減のために正規職員の数員を制限していることから、増加の傾向にある。

【注2】涵養：地表の水（降水や河川水）が帯水層に浸透し、地下水となること。

【注3】不育症：妊娠はするものの、流産や死産、新生児死亡などを繰り返し生まう状況のこと。



### 常任委員会の所管事務調査の内容

	テーマ	要 望 等
総務財政	入札制度について	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札執行への適正な対応とともに、総合評価落札方式における内容の改善等</li> <li>地元業者の育成</li> <li>入札の公正性、透明性、競争性の確保</li> </ul>
	防災啓発と市民防災力の向上について	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が参加しやすい環境づくり</li> <li>津波避難場所の見直しや避難路整備等への積極的な取り組み</li> <li>自主防災組織の活性化の促進</li> </ul>
都市建設	道路インフラ整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や県、関係機関との連携強化</li> <li>狭あい道路の解消</li> <li>都市づくりの課題と道路整備等の方針の明確化</li> </ul>
	下水道事業における雨水対策と経営基盤安定化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>10年確率強度のポンプや側溝の敷設</li> <li>貯留浸透能力の向上による、保水・遊水機能の強化</li> <li>下水道の未接続地帯の解消</li> <li>施設の適正な維持管理と、効率的な施設更新</li> </ul>
経済環境	国民健康保険事業の健全運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすい広報や意識啓発</li> <li>国民健康保険税の収納率向上</li> <li>レセプト点検の強化、ジェネリック医薬品の普及啓発</li> <li>一般会計からの法定外繰り入れも考慮した運営</li> </ul>
	企業誘致の推進と地場企業の振興について	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の視点に立った戦略的な情報発信</li> <li>医療関連産業に特化した優遇措置等の拡充</li> <li>地場企業が活動しやすい事業環境の整備</li> </ul>
福祉教育	健康長寿施策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>F Mのべおかなども活用した積極的なPR</li> <li>地域の健康長寿に関するキーマンの育成</li> <li>市民全体による健康長寿ポイント制度の推進</li> </ul>
	地域教育力の向上について	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援地域本部事業の拡大</li> <li>ボランティアが参加しやすい環境づくり</li> <li>関連事業間の連携による効率的な取り組み</li> </ul>

### 特別委員会の年間活動報告の内容

	調査項目	報告内容
議会基本条例制定	議会基本条例の制定	<ul style="list-style-type: none"> <li>条例提案時期を本年12月に設定。</li> <li>先進地視察を昨年8月に実施(京都府京丹後市、三重県伊賀市)。</li> <li>制定に関し、協議すべき24項目を決定(議会・議員の責務、議会と市民との関係、反問権など)。</li> <li>約3600人の市民を対象に、議会に関するアンケートを実施。</li> </ul>
広報・広聴	議会だよりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>2色刷りへの取り組み。</li> <li>一般質問者の氏名・写真の掲載方法、レイアウトの見直しの協議。</li> <li>議員編集の可能性の模索。</li> </ul>
	議会だより以外の広報・広聴活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット中継、F Mのべおかの活用など今後の広報活動の充実。</li> <li>シティミーティング/議会活動報告会の内容改善など今後の広聴活動の充実。</li> </ul>

## 各常任・特別委員会調査報告

### 常任委員会 所管事務調査報告

延岡市議会では、4つの常任委員会と2つの特別委員会が各テーマに基づき年間を通して調査研究し、市当局に対して次のような要望や提言を行いました。

環境、福祉教育の各常任委員会は、6月に所管事務調査項目を決定し、当局からの説明、先進地視察、シティミーティングなど1年間にわたって、調査研究を進めてきました。そして、3月定例会最終日に各委員長が年間の調査結果及び当局への要望等を行いました。

議会基本条例制定、広報・広聴の各特別委員会も、昨年5月の設置以降、先進地視察や委員会での協議を重ね、1年目を終えるにあたっての年間活動報告を3月定例会

### 特別委員会 年間活動報告

では左表のとおりです。最終日に行っています。特別委員会は平成24年度も引き続き調査研究を行い、これからの議会のあるべき姿を模索していく予定です。今年度の活動の様子については左表のとおりです。



## 鮎やなに関する議案等の審査経過

	補正予算	当初予算	陳情
概要	食事棟と厨房機器の23年度期末簿価相当額及び昨年のやな流失による損失額の一部1600万円を計上。	鮎やなの架設費など1700万円を計上。	(概要) 商工会議所や経済団体、民間組織「これからの鮎やなを考える会」の3者から、それぞれ伝統鮎やなの存続を求める陳情が提出された。商工会議所と経済団体は「これからの鮎やなを考える会」が今年1月に市に対して行った提言に賛同しての提出。
主な質疑・答弁	問:補助の趣旨は? 答:初期費用について精査し補助することで、多くの事業者が鮎やなへ参入できるようにする。	問:架設箇所は1カ所のみ想定か。 答:伝統鮎やなを最低1カ所は確実に残すことを考えての予算化である。	
審査結果	今後のコスト削減、経営の透明化、水産課との連携強化を要望して原案可決。	鮎やなを持続可能なものとしていくため、経験者の助言も得ながらコスト縮減を図ってほしいとの意見を述べた上で原案可決。	3件とも採択。

## 3月定例会より 鮎やなに関する審査について

今回の定例会では、鮎やなの保存に関して平成23年度補正予算、24年度当初予算に計上されたほか、関連する陳情が3件提出されるなど、多くの審査が行われ

ました。  
ここではそれらについての概要や、委員会等における市当局とのやりとりの一部を掲載します。

## 議会が市長に 政策提言

4月11日に、正副議長ほか2名が首藤市長に政策提言書を手渡しました。

この提言書は、これからの市政運営に対する議会としての意見を市当局に示すため、正副議長と各会派の代表から構成される政策提言議員協議会が、昨年4月から会議や市当局との意見交換会などを経てまとめたものです。協議会の提言は今回で4度目となります。

今回の提言の内容は次のとおりです。  
提言① 高速道路開通を見据えた観光施策(産業)の充実について

- ・ 体験型観光の充実や歴史文化などを活用した観光客の誘致
  - ・ 継続可能な開通記念イベントの実施
  - ・ 地場産品売り場や駐車場の拡充
- 提言② 農林水産業(第1次産業)の充実について
- ・ 就業意欲向上のための生産基盤の充実
  - ・ 効果的な有害鳥獣対策
  - ・ 家畜の防疫対策の強化
  - ・ 6次産業化の推進

### 本会議は市民の皆様に公開されています。

定例会及び臨時会の本会議は傍聴することができます。  
市役所3階の傍聴席から、明日の延岡を創造する議会と市当局とのやりとりを見てください。  
また、一般質問の様子はケーブルテレビでも生中継されていますのでご覧ください。  
その他、本会議の記録は「会議録」として、インターネットで検索することができます。

- 傍聴席 約60席(車いす用3席あり)
- テレビ放映 ケーブルメディアワイフイ(111チャンネル)
- 会議録検索システム  
[検索方法]延岡市ホームページ  
→ 延岡市議会  
→ 会議録検索

## 編集後記

「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」良い季節になりました。  
3月議会では、伝統鮎やな保存観光事業の補正予算を含む予算審査特別委員会が、7時間を超す異例の審議となりました。当局への活発な質疑は、まさに議会が市民の皆様への付託に応えようとする一面であったと思います。  
さて、今回から議会だよりを2色刷りの発刊といたしました。広報・広聴特別委員会では、市民の皆様には、ご理解を深めていただくための検討を行っています。この2色刷りもその一環です。今後も、本会議や委員会が気軽に傍聴できるシステム作りなどに努力してまいります。



次の定例会は6月に予定されています。  
第52号は8月初旬に発行する予定です。